



●取得認証●  
・ISO 9001  
・青森県認証介護サービス事業所

## 私の小径

今は人生100年の時代。  
これからの20年は妻と2人で楽しく暮らしたい。

きくち とよしち  
**菊池 豊七 さん** 昭和14年生まれ80歳 / むつ市栴山出身



「もう一度山に行って木の世話をしたい。」と、にこやかに語ります。

菊池豊七さんは、「みちのく金谷デザイナーセンター」を週2回利用し、自宅で妻のヒロ子さんと2人で生活しています。  
豊七さんは、むつ市栴山で米や芋を作る農家の8人兄弟の2番目として生まれました。  
子供の頃は戦争中で、空から降ってくる爆弾を避けるため家族全員で防空壕へ逃げ、生きるか死ぬかの毎日でした。少しでも家族の役に立ちたいと、仕事が忙しい両親に代わり、学校に行かず毎日兄弟の子守りをしていました。なかなか学校に通えない豊七さんや、近所の子どもたちを心配した担任の先生が、地域の集会所で勉強を教えてくれることもありました。

下の妻ヒロ子さんと再会し、2人は結婚。1女1男を授かります。結婚後も家族をむつに残し、単身赴任を続けました。  
24歳の時、むつ市の建設会社で働く事が決まり帰郷しました。  
「仕事が忙しかったから、一緒に出掛ける事はあまり出来なかったけど、毎年子どもや妻と一緒に田名部祭りに行った事が良い思い出だ。」  
建設会社では道路・土管工事、川の氾濫防止用のブロックを積む作業をしていました。ブルドーザーなどを操作できる資格や、建設に必要な資格もたくさん取得。そんな豊七さんの真面目な人柄が社長に認められ、最終的には現場監督を任せられるようになりました。  
「何も無い所に道路を作って、道ができて、人が通れるようになることが仕事をしていた一番楽しかった。」  
64歳の時、目の病気のためやむを得ず退職してからは、山へ行き木の世話をしたり、山菜などを取る事が第二の生きがいになりました。  
「小さい子どもを置いて単身赴任をした時も、体を壊した時も、妻はいつも支えてくれた。今、自分が生きていくのは妻のおかげです。」  
これからの人生も、夫婦ふたりで支えあいながら、笑顔で暮らしていきます。  
記/渡邊 奈美子

## ベトナムから 175 軍病院一行が来訪

10月1日と2日に、ベトナムのホーチミン市にある国防総省175軍病院のグー ドウック ハウ主計大佐一行が来訪されました。  
WHO (世界保健機関) が2018年に発表した統計によると、ベトナムの男女の平均寿命は76.3歳ですが、高齢化のスピードは、欧米や日本を含む先進国に比べるとはるかに速いと予測されています。  
来るべき「高齢社会」に備え、175軍病院では当法人で実践している日本式介護や、様々な最新のICT・IoT介護関連機器を視察する目的で訪れ、視察後は熱心に意見交換を行いました。  
今後は、175軍病院が設立予定の老人介護施設へ、協力していきたいと考えています。



ベトナム・175 軍病院一行と特別養護老人ホームみちのく荘玄関前で



法人で使用している最新設備をまとめたVTRを視聴しています。

## 子ども食堂 オープン!!

「子ども食堂」とは、食事・遊び・勉強ができる集いの場所です。  
「食事を通じて、子ども同士、親同士そして地域のコミュニケーション活性化を図ります。」

11月30日(土)、むつ下北地域では初となる「子ども食堂」をオープンします。  
屋食料金は子ども(高校生以下)無料、大人は付き添いの方に限りますが300円です。食事だけではなく、遊んだり学んだり、自由に過ごすことができます。「地域社会に貢献したい」「地域の子どもたちを見守って育んでいきたい」という思いからこの「子ども食堂」を運営することにしました。当面は定期的に、毎月最終土曜日の昼食時に開店する予定です。  
一緒に運営を手伝ってくださるボランティアの方や、おもちやおやつ・食材等を提供して下さる企業や個人の方がいらっしやいましたら是非ご連絡ください。  
子どもだけでなく、大人と一緒にでもお気軽にご利用ください。お待ちしております！ 記/徳田 努

**開催日** 11月30日(土)  
**時間** 10:30~16:00  
**タイムスケジュール**  
10:30 オープニングセレモニー  
12:00 屋食タイム  
※アレルギー食への対応は行っていません。

**場所** 特別養護老人ホームみちのく荘内 地域交流室  
12月からはココだよ!  
むつ市十二林8-10に、場所が変わります。  
11月30日の会場はココ!  
むつ市金谷2-20-2  
特別養護老人ホームみちのく荘 地域交流室  
みちのく金谷デザイナーセンター  
むつカラオケパラダイス ○下北文化会館

当日は、子ども食堂の「のぼり」が目印!!

ボランティアや「子ども食堂」に関するお問い合わせ  
社会福祉法人 青森社会福祉振興団 人材部 木村  
**TEL 0175-23-1600**  
(平日 8:30 ~ 17:30)

やさしい街づくりを応援しています。

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社 **ニッショク**  
NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目 13-35  
電話 (0175) **22-7222**  
FAX (0175) **22-7081**

純烈 1/19回 15:00開演  
前売好評 1F 指定 5,500円  
コンサート 発売中! 2F 自由 4,000円  
主催/下北文化会館 ☎22-8411

経営のお役に立つ

**あおきんリース**  
むつ支店

〒035-0051 むつ市新町 28-17  
TEL 0175-23-0171  
http://www.aogin-lease.jp

# ★ベトナム保健省フエ中央病院との協働事業の覚書に調印!

2019年10月8日「ベトナム保健省フエ中央病院との協働事業の覚書」の調印式が行われました。

これまでの法人の海外事業は、日本語と介護の教育・研修事業が中心でしたが、この新しい事業においては、実際にフエの人々に介護を行うというのがこれまでとの大きな違いです。

協働事業を行うフエ中央病院のヒエップ院長は「病院が培ってきた高齢者向けの医療分野サービスに、高齢者サービス先進国の日本の技術、施設建設や運営のノウハウを取り入れることで、ベトナム社会にふさわしい新しい高齢者介護の形が生まれると確信している。」と述べました。

調印式の後は「第1回日越介護・リハビリ研究セミナー」が行われました。日本の介護が看護やリハビリテーションなどのような関わりをもっているのか、日本やベトナムのリハビリについて実技発表を交えてプレゼンテーションを行い、活発な意見交換がなされました。セミナーや勉強会を今後も積み重ねて、具体的な事業の形を作っていくしたいと思います。



今後はフエ中央病院の一角を改修し、日本式の介護技術を取り入れた施設を運営する予定です。

教育・研修・介護事業を進めることで、法人の当初の目的である「人材循環サイクル」の完成へまた一歩近づきました。

猪苗代湖 (1984年) / 関野準一郎



## 関野準一郎記念 まるめろ美術館ご案内 「東北風景」展

期間/2019年10月4日(金)~2020年2月4日(火)  
開館時間/10:00~16:00  
資料代/300円(中学生以下無料)  
休館日/第一水曜・第一木曜・土・日・祝日・年末年始



## みちのく荘で働く仲間たち 第8回 管理員

### ●管理員ってどんな仕事?

管理員は、法人の施設設備機器等の保守・管理、構造物の管理及び敷地内の環境整備、備品及び消耗品の購入・管理を行います。

敷地内の修理を業者に依頼し、業務を行う現場に立ち会ったり、自身で修繕を行うこともあります。電気やボイラー、給排水等の設備管理というように、内容は多岐にわたります。

必要に応じて、資格等も取得し、利用者や職員の毎日の暮らしをサポートします。



名前:藤江 一人  
出身地:むつ市脇野沢  
所属:特別養護老人ホーム金谷みちのく荘

藤江管理員は2002年4月知人の勧めがあり、中途採用でみちのく荘へ入社しました。入社当初は管理員として働く傍ら、訪問入浴車のスタッフも兼務していました。現在は「特別養護老人ホーム金谷みちのく荘」で管理員として働いており、「特別養護老人ホーム金谷みちのく荘」の他「みちのく金谷サービスセンター」など金谷エリアの施設・設備管理を担当しています。

施設用品の日常・定期点検に加え、入居者の車いすの調整なども行います。高校卒業後、専修学校を経て、建て方(注)の仕事をしてきた経験が現在に活かされています。

利用者が、誤って紙パットを居室のトイレに流してしまった事がありました。駆け付けると、ベットの座り「便所流れねじゃ。壊れたべが?」と心配そうに、作業を見守っていました。トイレの詰まりを取り除き、声掛けしようと振り返ると、ぐっすり眠っていたので静かに退室しました。数日後、その利用者が亡くなり部屋を片付けていると、元気に過ごしていた頃の写真を見つけ、時間が止まった事を覚えているそうです。

「様々な出会いがあり、今に至ります。やりがいのある仕事で、利用者や職員にとって快適な暮らしとは何か、今自分にできる事は何かを、日頃から考えこれからも従事していきます。」

冬になると、除雪作業で一段と忙しくなります。今日も施設のあちらこちらから、藤江管理員を呼ぶ声が聞こえます。

※(注)建て方とは、建築現場において構成材を組み立てることを言います。



【看護】優勝者:玉内 祥子(みちのくクリニック)



【介護】優勝者:佐藤ふみえ(みちのく十二林ショートステイ)

9月21日(土)、5回目となる「みちのく荘サービス公開競技大会まるめろ杯」が特別養護老人ホーム金谷みちのく荘内、地域交流ホールで開催されました。「リハビリ」「看護」「介護」の他、「事務員」「調理員」を加えた計5部門の職種で予選会を行い、代表に選ばれた職員は忙しい業務の合間を縫って練習を重ね、優勝を目指して競いました。

- 【事務員部門】若狭 珠枝 (みちのくケアプランセンター)
- 【リハビリ部門】杉山 北郎 (みちのく訪問リハビリテーションセンター)
- 【看護部門】玉内 祥子 (みちのくクリニック)
- 【調理員部門】小笠原 敬 (金谷フード)
- 【介護部門】佐藤 ふみえ (みちのく十二林ショートステイ)

# 第5回 まるめろ杯 結果報告

# 第2期みちのく議会 活動報告!!

2016年に発足された「みちのく議会」は2期目の議員となり、早いもので1年が過ぎました。働きやすい職場環境を作るために、様々な視点で議論が行われるよう、議員は当法人に勤務する全職種の中から選挙によって選ばれています。法人各所に設置されている目安箱に投書された要望に対し、情報収集を行い、定例会及び臨時会が開かれます。法人経営者へ提案が必要と判断された議案については、管理職会議または常任理事会へ諮ります。これまでにいくつもの議案が可決・承認・報告されました。これからも、法人全体のより良い環境づくりと、法人職員に開かれた議会を目指し活動していきます。



◆第2期みちのく議会議員紹介◆  
《任期》2年 (2018年7月1日~2020年6月30日迄)  
▶写真手前右から【フード職員代表】小笠原 敬【介護職員代表】今夏美【介護職員代表】澤口 陽子【事務員代表】京谷 萌恵【医療職員代表】能渡 竜洋▶写真奥右から【リハビリ職員代表】杉山 北郎【相談職員代表】小笠原 悟【介護職員代表】佐賀 宗敬【管理員・ドライバー職員代表】竹内 学

## やさしい街づくりを応援しています。

快適な環境づくりのお手伝い

- 介護用品のレンタル・販売 (車いす・ベッド・リハビリ機器他)
- 住宅改修

株式会社 シルバーサービス  
〒035-0033 むつ市横迎町2-9-13  
TEL 0175-22-9511

お客様へエネルギーの創造と革新を提供し、経済・社会の発展に努めます。

ENEOSグローブエナジー株式会社  
URL <http://eg-energy.jp/>

むつ支店: むつ市南赤川町10-27  
TEL 0175-22-8320

し尿収集運搬業・浄化槽保守点検・清掃業  
一般・産業廃棄物収集運搬業  
下水道管渠清掃カメラ調査、下水終末処理場維持管理業

谷川環境衛生開発(株)  
代表取締役社長 谷川 聡

本社: むつ市新町41-1  
TEL. 0175(22)2659 FAX. 0175(22)7783  
フリーダイヤル 0120-12-2659

あおもり働き方改革推進企業に認証されました!

この度「ISO9001」の認証維持が承認され、また「青森県介護サービス事業所認証評価制度」も認証更新されました。さらに、この2つに加え新たに「あおもり働き方改革推進企業」に認証されました。あおもり働き方改革推進企業認証評価制度は「働き方改革」に積極的に取り組む企業を県が認証する制度です。全ての労働者が働きやすい環境づくりを進め、女性の継続就業や男性の家庭参画、ワーク・ライフ・バランスの推進等を目的としています。引き続き、質の高い介護サービスの提供と働きやすい職場作りに取り組んでいきたいと思っております。